



ハードウェア リファレンス ガイド

HP 260 G2 DM Business PC

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

ここに記載されている情報の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。ここに記載されている情報のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。ここに記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。ここに記載されている情報の内容につきましては万全を期しておりますが、ここに記載されている情報の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2016年2月

製品番号：860800-291

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店に問い合わせてください。

このガイドについて

このガイドでは、HP デスクトップ ミニ型 Business PC の機能およびハードウェアのアップグレードの基本的な作業手順などについて説明します。

-
-  **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
 -  **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
 -  **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 -  **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 -  **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

目次

1 製品の特長	1
標準構成の機能	1
フロントパネルの各部	2
リアパネルの各部	2
シリアル番号の記載位置	3
2 ハードウェアのアップグレード	4
保守機能	4
警告および注意	4
電源コードの接続	5
コンピューターのアクセスパネルの取り外し	6
コンピューターのアクセスパネルの取り付け	7
横置きから縦置きへの変更	8
ハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け	9
メモリの増設	12
DDR4-SDRAM SODIMM	12
SODIMM ソケットについて	13
SODIMM の取り付け	14
電池の交換	16
オプションの背面コネクタカバーの取り付け	18
セキュリティロックの取り付け	19
ロックケーブル	19
南京錠	19
コンピューターの取り付け	20
推奨されている取り付け方法	22
付録 A 静電気対策	23
静電気による損傷の防止	23
アース（接地）の方法	23
付録 B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意	24
コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意	24
運搬時の注意	25

付録C ユーザーサポート	26
サポートされている支援技術	26
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	26
索引	27

1 製品の特長

標準構成の機能

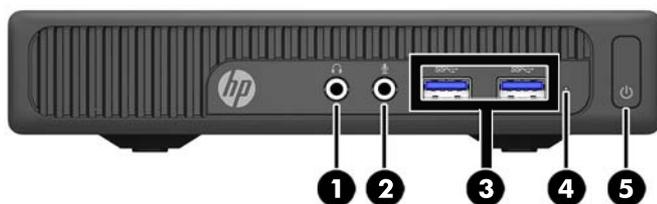
機能は、モデルによって異なる場合があります。お使いのコンピューターに取り付けられているハードウェアおよびインストールされているソフトウェアの一覧を表示するには、診断用ユーティリティを実行します（一部のモデルのコンピューターにのみ付属しています）。

 **注記：** このモデルのコンピューターは、縦置きおよび横置きのどちらでも使用できます。縦置き用スタンドは別売です。



フロントパネルの各部

ドライブの構成はモデルによって異なります。

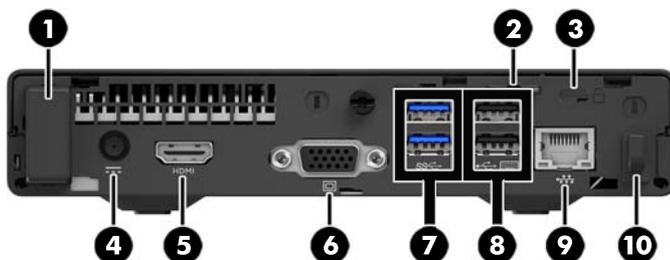


フロントパネルの各部

1	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	4	ハードディスクドライブランプ
2	オーディオ入力（マイク）コネクタ	5	電源ボタン
3	USB 3.0 ポート		

注記：電源が入っていると、通常、電源ランプは白色に点灯します。コンピューターにトラブルが発生している場合は電源ランプが赤色で点滅し、その点滅パターンで診断コードを表します。コードについて詳しくは、『Maintenance and Service Guide』（メンテナンスおよびサービスガイド、英語のみ）を参照してください。

リアパネルの各部



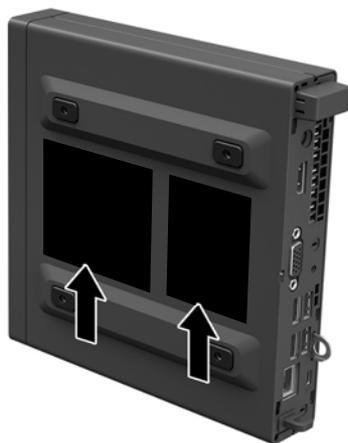
リアパネルの各部

1	別売のアンテナ カバー	6	VGA モニター コネクタ（青色）
2	施錠用ループ	7	USB 3.0 ポート（青色）
3	セキュリティ ケーブル用スロット	8	キーボードウェイクアップ機能付き USB 2.0 ポート（黒色）*
4	AC アダプター用電源コネクタ	9	RJ-45（ネットワーク）コネクタ
5	HDMI モニター出力端子	10	電源コード固定クリップ

*USB キーボードを使用する場合は、ウェイクアップ機能付き USB 2.0 ポートのどちらかにキーボードを接続することをおすすめします。BIOS F10 セットアップで有効になっている場合は、PS/2 コネクタでもウェイクアップ機能がサポートされます。

シリアル番号の記載位置

各コンピューターの外側には、固有のシリアル番号ラベルおよび製品識別番号ラベルが貼付されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになる場合は、これらの番号をお手元に用意しておいてください。



2 ハードウェアのアップグレード

保守機能

このコンピューターには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

⚠ 警告！ 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- 作業を行う前に、電源コードを電源コンセントから抜き、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体の背面のネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース (接地) してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択してご覧になれます。

⚠ 警告！ 内部には通電する部品や可動部品が含まれています。

カバーやパネル等を取り外す前に、電源コードをコンセントから抜き、装置への外部電源の供給を遮断してください。

装置を再び外部電源に接続する前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。

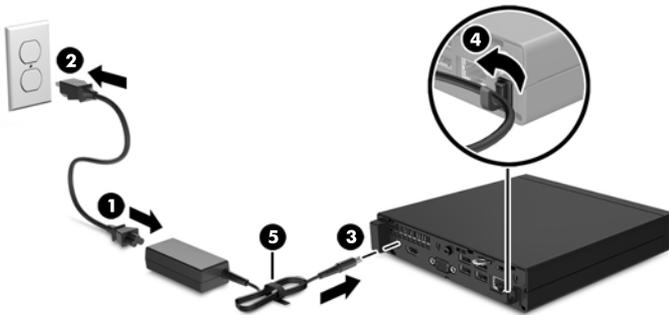
📄 重要： 静電気の放電によって、コンピューターや別売の電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[23 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入ってなくてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

電源コードの接続

電源を接続するときは、以下の手順に沿って、電源コードがコンピューターから抜けないようにする必要があります。

1. 電源コードのメス型コネクタを AC アダプターに差し込みます (1)。
2. その電源コードのもう一方の端を電源コンセントに差し込みます (2)。
3. 電源コードの丸い端子をコンピューターの背面の電源コネクタに接続します (3)。
4. 電源コードを固定クリップに通し、コードがコンピューターから外れないようにします (4)。
5. 余分な電源コードを付属のストラップを使用してまとめます (5)。



重要：電源コードを留め具で固定していない場合、電源コードが外れてデータが失われる可能性があります。

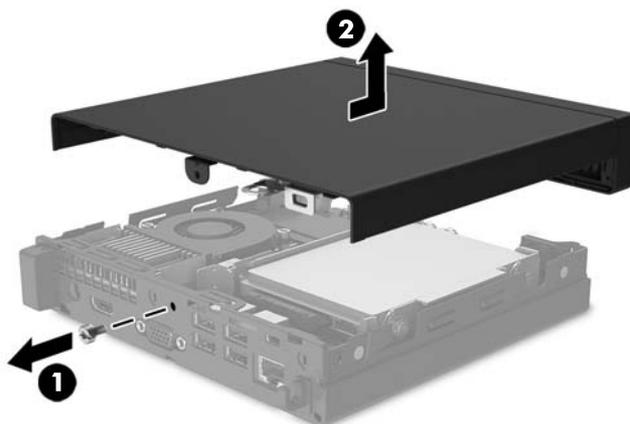
コンピューターのアクセスパネルの取り外し

内部部品にアクセスするには、アクセスパネルを以下の手順で取り外す必要があります。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

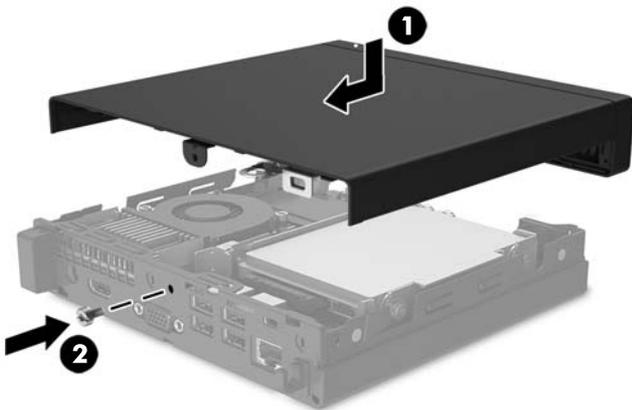
 **重要**：システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外します。
6. コンピューターの背面にあるネジを取り外してから (1)、パネルを前方へスライドさせ、引き上げてコンピューターから取り外します (2)。



コンピューターのアクセスパネルの取り付け

アクセスパネルをコンピューターの上に置いてから後方にスライドさせ (1)、ネジを取り付けて (2) パネルを所定の位置に固定します。



横置きから縦置きへの変更

コンピューターは、HP から購入できるオプションの縦置き用スタンドを利用すれば、縦置き構成でも使用できます。

1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切つてから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

4. コンピューターを右側面が上になるように立て、オプションのスタンドに取り付けます。



 **注記：**縦置きでのコンピューターの安定性を高めるために、付属の縦置き用スタンドを使用することをおすすめします。

5. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

 **注記：**通気を確保するため、コンピューターの周囲 10.2 cm 以内に障害物がないようにしてください。

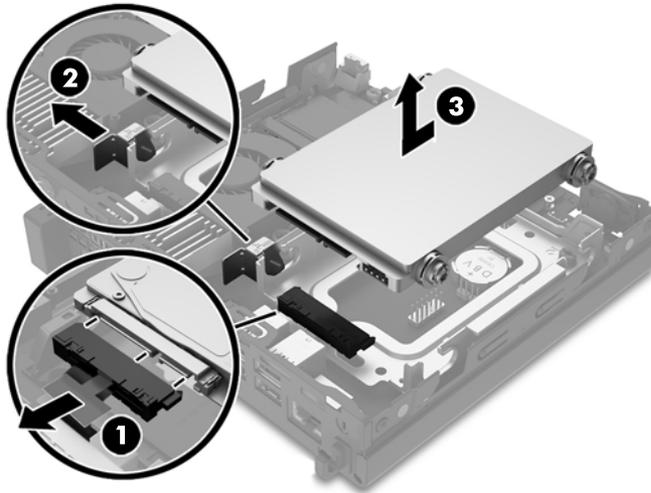
ハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け

 **重要:** ハードディスクドライブを取り外すときは、新しいハードディスクドライブにデータを移動できるように、必ず事前にドライブ内のデータをバックアップしておいてください。

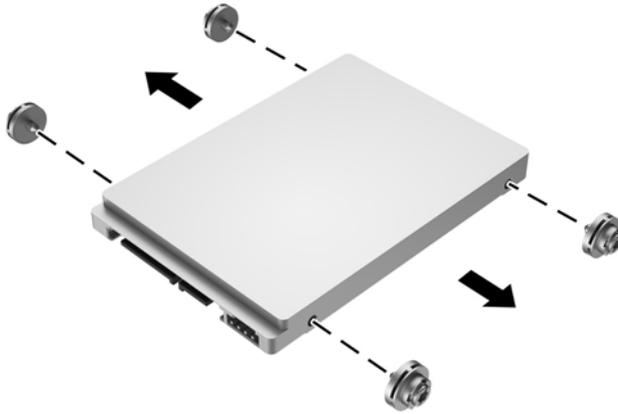
1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティデバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要:** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

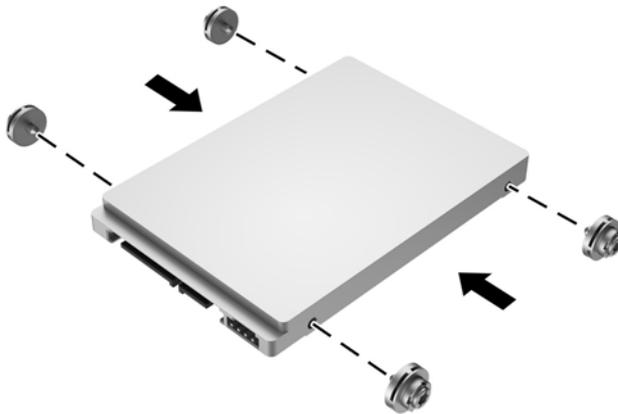
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外します。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。
7. 電源データケーブルをハードディスクドライブから抜きます (1)。ケーブルを抜くには、ケーブルコネクタのプルタブを引っ張ります。次に、ハードディスクドライブの背面の横にあるリリースレバーを外側に引きます (2)。リリースレバーを引いたままドライブを後方にスライドさせます。ドライブが止まったところで、ドライブを持ち上げてベイから取り出します (3)。



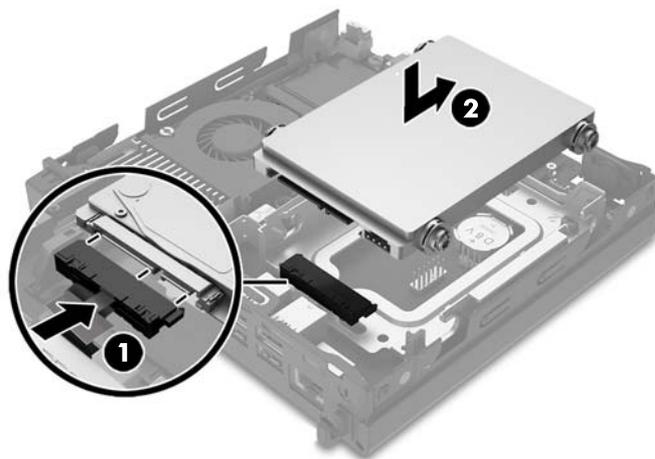
8. 銀色と青色のガイド用分離取り付けネジを古いハードディスクドライブの両側から取り外します。



9. 銀色と青色のガイド用分離取り付けネジを新しいハードディスクドライブの両側に取り付けます。



10. 電源データ一体型ケーブルをハードディスクドライブに差し込みます(1)。ガイド用ネジの位置をシャーシ上のドライブケースの-slotの位置に合わせてから、ハードディスクドライブを押し込んでドライブベイに差し込みます。次に、正しい位置に固定されるまでハードディスクドライブを前方にスライドさせます (2)。



11. アクセスパネルを取り付けなおします。
12. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
13. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
14. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

メモリの増設

お使いのコンピューターは、少なくとも1つのダブルデータレート4シンクロナス DRAM (DDR4-SDRAM) スモールアウトラインデュアルインラインメモリモジュール (SODIMM) を標準装備しています。システムボード上にある2つのメモリソケットには、最大32GBのメモリを取り付けることができます。

DDR4-SDRAM SODIMM

システムのパフォーマンスを最大まで高めるためには、以下の条件を満たす SODIMM を使用することをおすすめします。

- 業界標準の 288 ピン
- アンバッファード非 ECC PC4-17000 DDR4-2133 MT/s 準拠
- 1.2 ボルト DDR4-SDRAM SODIMM

SODIMM は、以下の条件も満たしている必要があります。

- CAS レイテンシ 15 (DDR4/2133 MT/s、15-15-15 タイミング) をサポートしている
- JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している

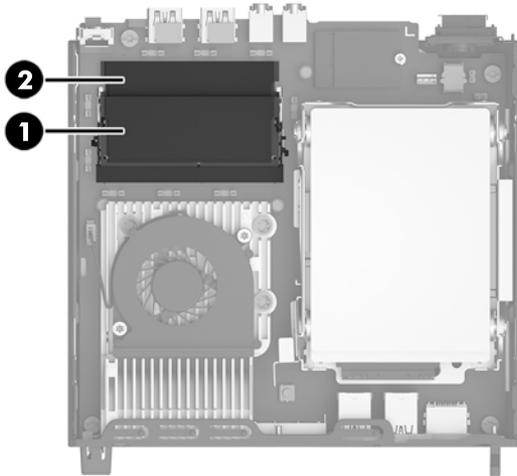
さらに、お使いのコンピューターでは以下の機能やデバイスがサポートされます。

- 512 メガビット、1 ギガビット、2 ギガビット、4 ギガビット、および 8 ギガビットの非 ECC メモリテクノロジー
- 片面および両面 SODIMM

 **注記:** サポートされない SODIMM が取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。

SODIMM ソケットについて

システムボードには2つのSODIMMソケットがあり、1つのチャンネルについて1つのソケットがあります。ソケットには、DIMM1 および DIMM2 の番号が付けられています。DIMM1 ソケットはメモリチャンネルBで動作し、DIMM2 ソケットはメモリチャンネルAで動作します。



番号	説明	システムボードラベル	ソケットの色
1	SODIMM1 ソケット、チャンネル B	DIMM1	黒
2	SODIMM2 ソケット、チャンネル A	DIMM2	黒

取り付けられている SODIMM に応じて、システムは自動的にシングルチャンネルモード、デュアルチャンネルモード、またはフレックスモードで動作します。

- 1つのチャンネルの SODIMM ソケットにのみ SODIMM が取り付けられている場合、システムはシングルチャンネルモードで動作します。
- チャンネル A の SODIMM の合計メモリ容量とチャンネル B の SODIMM の合計メモリ容量が等しい場合、システムはより高性能なデュアルチャンネルモードで動作します。
- チャンネル A の SODIMM のメモリ容量とチャンネル B の SODIMM のメモリ容量が異なる場合、システムはフレックスモードで動作します。フレックスモードでは、最も容量の小さいメモリが取り付けられているチャンネルがデュアルチャンネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングルチャンネルに割り当てられます。1つのチャンネルのメモリ容量が他方よりも多い場合は、多い方をチャンネル A に割り当てる必要があります。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅い SODIMM によって決定されます。

SODIMM の取り付け

 **重要**：メモリ モジュールの取り付けまたは取り外しを行うときは、電源コードをコンセントから抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリ モジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリ モジュールの着脱を行うと、メモリ モジュールまたはシステム ボードを完全に破損するおそれがあります。

お使いのメモリ モジュールソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリを増設するときには、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリ モジュールは金メッキのものを使用してください。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションカードの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アース（接地）された金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[23 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

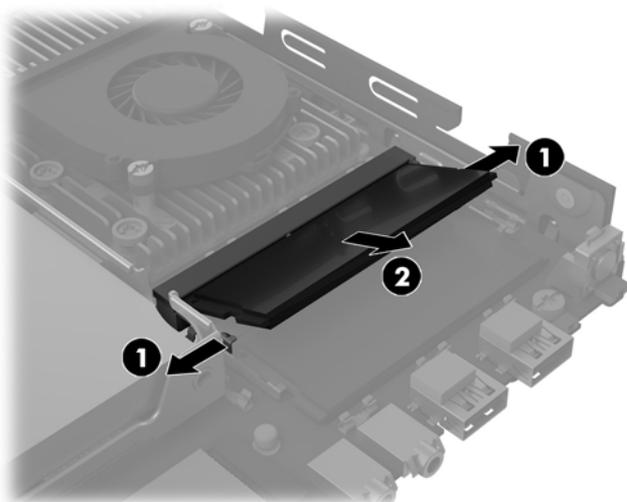
メモリ モジュールを取り扱うときは、金属製の接点に触れないでください。金属製の接点に触れると、モジュールが破損するおそれがあります。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

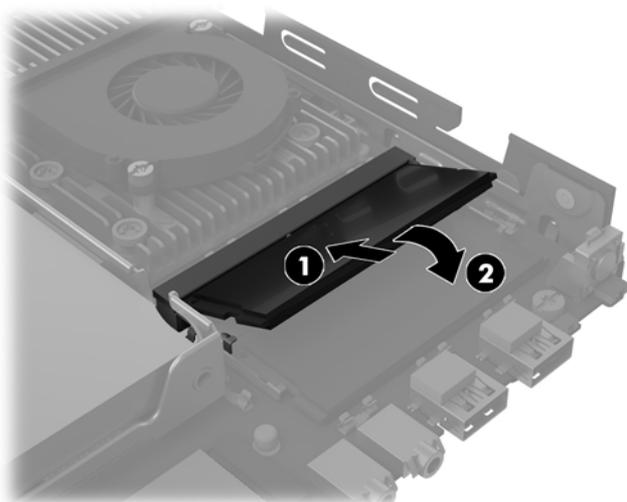
 **重要**：メモリ モジュールの取り付けまたは取り外しを行うときは、電源コードをコンセントから抜いて電力が放電するまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリ モジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリ モジュールの着脱を行うと、メモリ モジュールまたはシステム ボードが完全に破損するおそれがあります。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外します。
6. コンピューターのアクセス パネルを取り外します。

7. SODIMM を取り出すには、SODIMM の両側にある 2 つのラッチを外側に押し (1)、ソケットから SODIMM を引き出します (2)。



8. 新しい SODIMM を約 30°の角度でソケットに差し込み (1)、SODIMM を押し下げて (2) ラッチを所定の位置に固定します。



 **注記：**メモリモジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリモジュールのノッチ（切り込み）をソケットのタブに合わせます。

9. アクセスパネルを取り付けなおします。
10. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
11. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
12. コンピューターのカバーまたはアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

コンピューターの電源を入れたときに、増設メモリが自動的に認識されます。

電池の交換

お使いのコンピューターに付属の電池は、リアルタイムクロックに電力を供給するためのものです。電池は消耗品です。電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていた電池と同等の電池を使用してください。コンピューターに付属している電池は、3Vのボタン型リチウム電池です。

警告！ お使いのコンピューターには、二酸化マンガンリチウム電池が内蔵されています。電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。けがをすることがないように、以下の点に注意してください。

- 電池を充電しないでください。
- 電池を 60°C を超える場所に放置しないでください。
- 電池を分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていた電池と同等の電池を使用してください。

重要： 電池を交換する前に、コンピューターの CMOS 設定のバックアップを作成してください。電池が取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アース（接地）された金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

注記： リチウム電池の寿命は、コンピューターを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム電池は、コンピューターが外部電源に接続されていない場合のみ使用されます。

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/>（英語サイト）を参照してください。

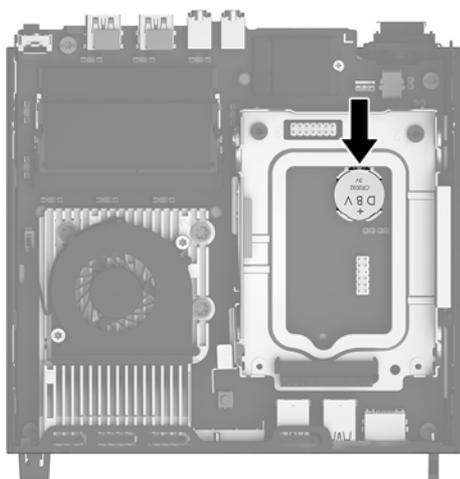
電池は、ハードディスクドライブの下にあります。電池にアクセスするには、ハードディスクドライブを取り外す必要があります。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

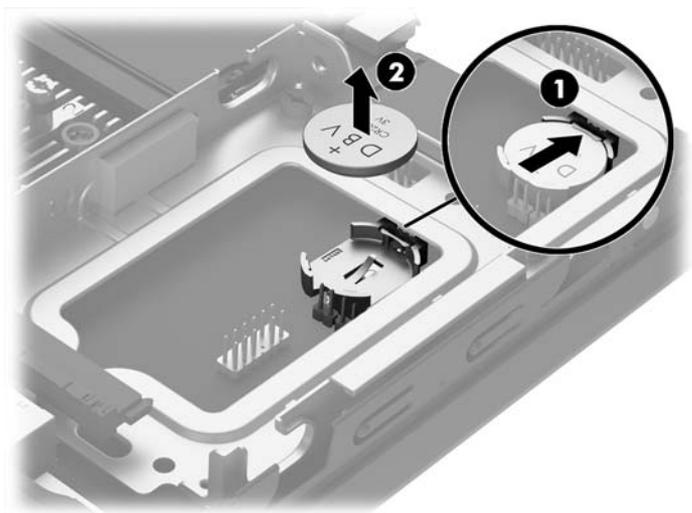
重要： システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外します。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。
7. ハードディスクドライブを取り外します。詳しくは、[9 ページのハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。

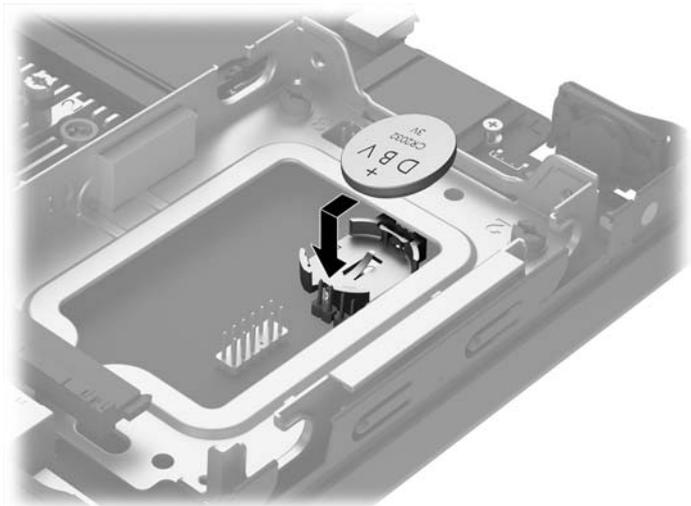
8. システムボード上の電池および電池ホルダーの位置を確認します。



9. 電池をホルダーから取り出すために、電池の一方の端の上にある留め金を後方に引きます (1)。電池が持ち上がったら、ホルダーから取り出します (2)。



10. 新しい電池を取り付けるには、電池の[+]と書かれている面を上にして、古い電池を取り外すときに後方に引いた留め金の下に、交換する電池の一方の端をスライドさせて装着します。電池のもう一方の端の留め金によって電池がホルダーに固定されるまで、もう一方の端を押し下げます。



11. ハードディスクドライブを取り付けなおします。詳しくは、[9ページのハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。
12. アクセスパネルを取り付けなおします。
13. スタンドに取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを取り付けなおします。
14. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
15. [コンピューターセットアップ (F10) ユーティリティ]を使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステムセットアップを設定しなおします。
16. コンピューターのアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティデバイスをすべて取り付けなおします。

オプションの背面コネクタカバーの取り付け

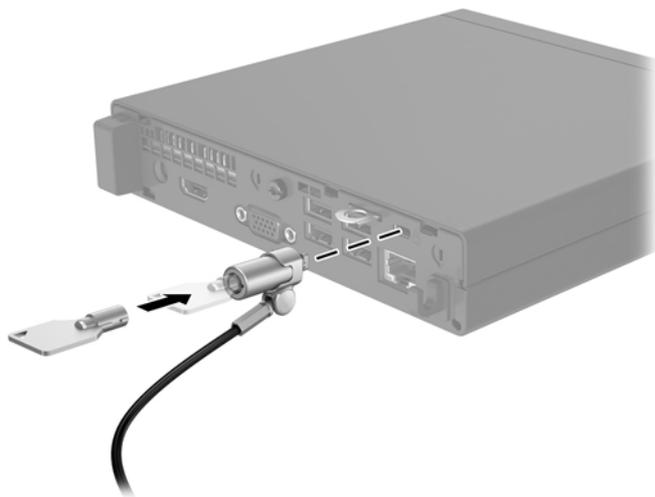
オプションの背面コネクタカバーを取り付けるには、ケーブルを接続してから、コネクタカバーのフックをコンピューターの背面にあるスロットに差し込み、コネクタカバーを右方向にスライドさせます。



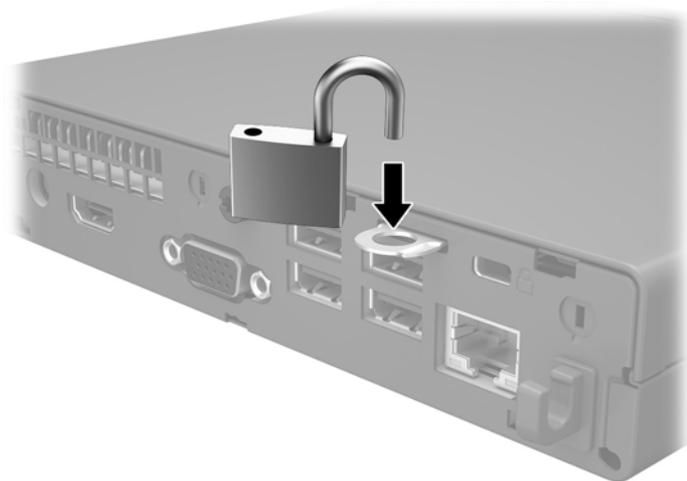
セキュリティ ロックの取り付け

以下の図および次ページの図に示すセキュリティ ロックは、コンピューターの損傷を防ぐために使用できます。

ロック ケーブル



南京錠



コンピューターの取り付け

コンピューターを取り付けるときは電源ボタンを上にして縦置きにすることをおすすめします。

重要： I/O コネクタが下向き状態でコンピューターを取り付けしないでください。

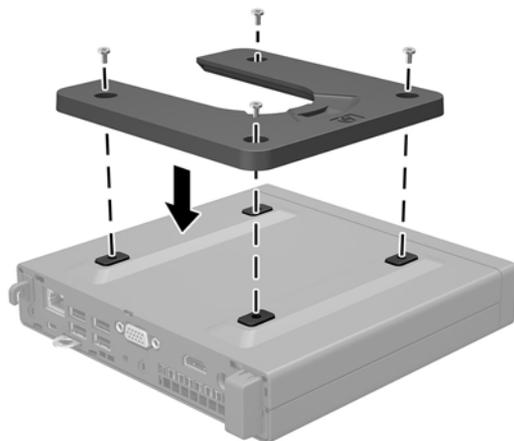
このコンピューター本体の底面には、4つの取り付け穴があります。これらの取り付け穴は、フラットパネルモニター、薄型ディスプレイ、薄型テレビなどの薄型ディスプレイ（FD）用の業界標準の取り付けインターフェイスを規定する、VESA（Video Electronics Standards Association）規格に適合しています。HP クイックリリースを VESA 準拠の取り付け穴に接続すると、コンピューターをさまざまな向きで取り付けることができます。

注記： クイックリリースをコンピューターに取り付ける場合は、HP クイックリリースに含まれている長さ 15 mm のネジを使用します。

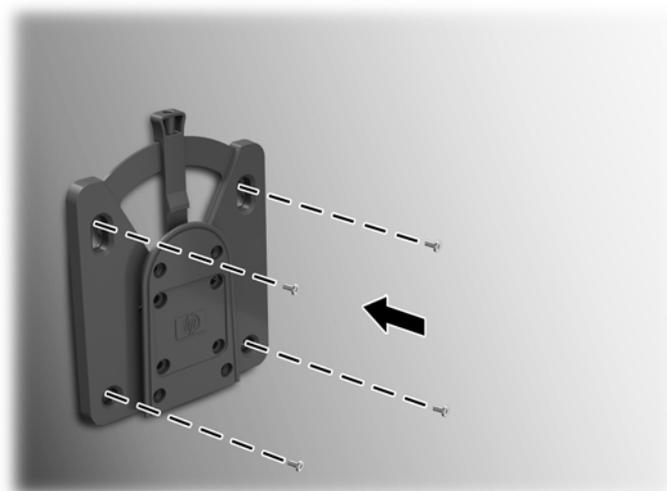


HP クイックリリースを使用するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの底面に4本のネジが取り付けられている場合は、取り外します。
2. 取り付け器具のキットに含まれている長さ 15 mm のネジを4本使用して、以下の図のように HP クイックリリースの一方をコンピューターに取り付けます。

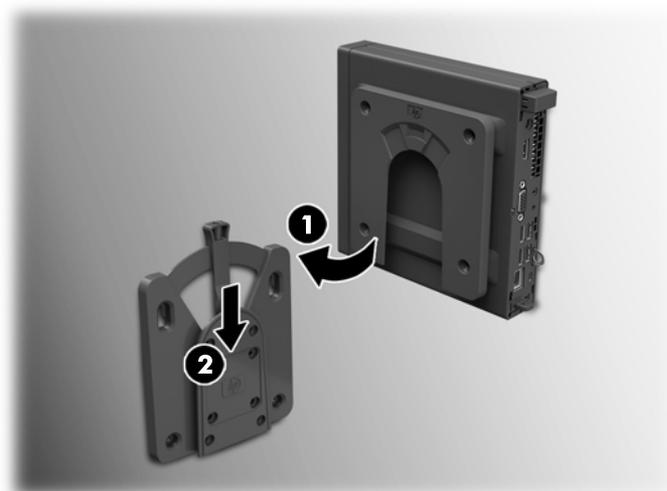


3. HP クイック リリースのもう一方を、コンピューターの設置先の取り付け器具に取り付けます。



リリースレバーが上向きになっていることを確認してください。

4. コンピューターに取り付けた方の HP クイック リリースの側面 (1) を、もう一方の HP クイック リリースの側面に合わせてスライドさせて (2)、コンピューターを取り付けます。正しく固定されるとカチッという音がします。



接続されると、HP クイック リリースは所定の位置に自動的に固定されます。レバーを片側にスライドさせるとコンピューターを取り外すことができます。

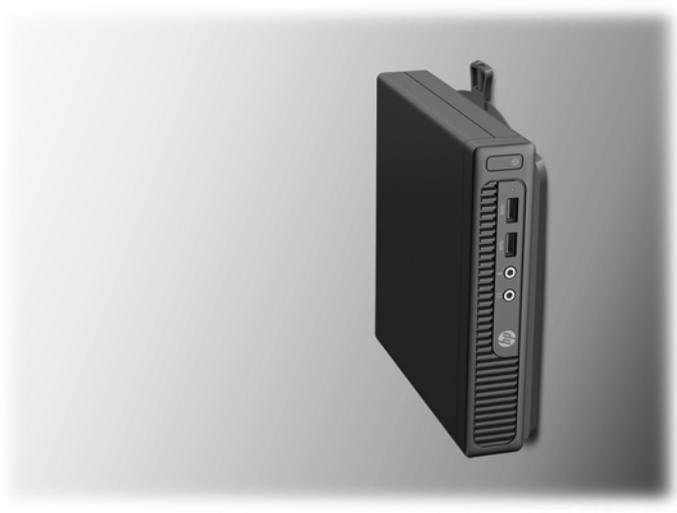
推奨されている取り付け方法

以下に推奨されている取り付け方法の例を図で示します。

- フラットパネルモニターの背面



- 壁掛け



- 机の下 (2.5 cm 以上の空間が必要)



A 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる場合があります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬時や保管時は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアース（接地）されている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アース（接地）の方法

アース（接地）にはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピューターおよびモニターの設置や手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面とモニターの上部に、少なくとも 10.2 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなりますので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピューターのアクセスパネルまたは拡張カードスロットのカバーのどれかを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピューターどうしを近くに置いたりしないでください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニター上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールまたは有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。
 - コンピューターやモニターの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブのファイルを外付け記憶装置にバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないように注意します。

 **注記：**ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピューターからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

 **注記：**すべてのスロットに保護用部材がしっかりとめ込まれていることを確認します。

6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

C ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせる機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

H

HP クイック リリース 20

あ

アクセスパネル
取り付け 7
取り外し 6

う

運搬時の注意 25

く

クイック リリース 20

こ

コンピューター操作のガイドライ
ン 24
コンピューターの取り付け 20

し

シリアル番号の記載位置 3

す

推奨されている取り付け方法 22

せ

静電気対策、損傷の防止 23
製品識別番号の記載位置 3
セキュリティ
南京錠 19
ロックケーブル 19

た

縦置きへの変更 8

つ

通気のガイドライン 24

て

電源コードの接続 5
電池
交換 16

と

取り付け
ガイドライン 4
コンピューターのアクセスパ
ネル 7
電池 16
ハードディスクドライブ 9
背面コネクタカバー 18
メモリ 12
取り付け方法
壁掛け 22
机の下 22
モニターの背面 22
取り外し
コンピューターのアクセスパ
ネル 6
電池 16
ハードディスクドライブ 9

は

ハードディスクドライブ
取り付け 9
取り外し 9

ふ

フロントパネルの各部 2

め

メモリ
仕様 12
ソケットへの取り付け 13
取り付け 12

ゆ

ユーザー サポート 26

り

リアパネルの各部 2

ろ

ロック
南京錠 19
ロックケーブル 19